

## 白岩川ダム周辺の鳥類

高橋輝男

富山市ファミリーパーク

〒930-0151 富山県富山市古沢254

### Bird survey around Shiraiwa dam lake

Teruo Takahashi

Toyama Municipal Family Park Zoo, 254 Furusawa, Toyama-shi, Toyama -930-0151, Japan

要約：2015年11月から2016年10月までの1年間、富山県立山町の白岩川ダム周辺および白岩川上流域において鳥類調査を行った。ラインセンサスでは91種、調査全体では100種の鳥類を確認した。当調査地の鳥類相の特徴として、夏鳥・留鳥の繁殖地としての重要度が高いこと、厳冬期には漂鳥や放浪性鳥類の越冬地としての役割が大きいことが挙げられた。

#### はじめに

白岩川は、大辻山（標高1,361m）を水源として北北西に流下し、途中、湯毘谷川、虫谷川、大岩川、栃津川等と合流して富山市水橋地先で日本海に注ぐ、流路延長24.6kmの二級河川である。流域周辺の大半が水田で占められており、白岩川ダム湖周辺ではコナラなどの樹木が水際まで迫り、多様な生物の生息場となっている。（富山県，2008）

白岩川の上流域、特に白岩川ダム湖の周辺は里山を構成する環境要素が揃っており、当地での野鳥調査は富山県東部の中低山地域の鳥類相と生息環境との関係を知る上で重要である。

このたび、当地の鳥類相を定量的に調査したので、その結果得られた知見を報告する。

#### 調査地点と調査方法

調査は2015年11月から2016年10月までの1年間、白岩川ダム周辺及び白岩川、湯毘谷川、虫谷川の流域、並びに塔倉山（標高726m）山麓にてラインセンサス調査と目撃鳥類の記録を行った。（図1）

ラインセンサス調査ではダム事務所から目桑林道を通り、白岩川ダム右岸を起点まで戻ると総延長5.11kmのコースを時速約2kmで歩行しながら観察半径50mの範囲に出現した鳥類種と個体数を記録

した。ラインセンサス調査はおおむね日の出時刻後4時間までの間に、各月に3回ずつ、計36回実施した。（図2）

ラインセンサスルート観察半径内の環境要素を現地で目視確認し、メッシュ地図上に記入して面積比を算出たところ、樹林70%、耕地21%、草地・荒地（休耕地・耕作放棄地を含む）7%、水域1%、その他1%であった。



図1 調査エリア（国土地理院地図より作図）

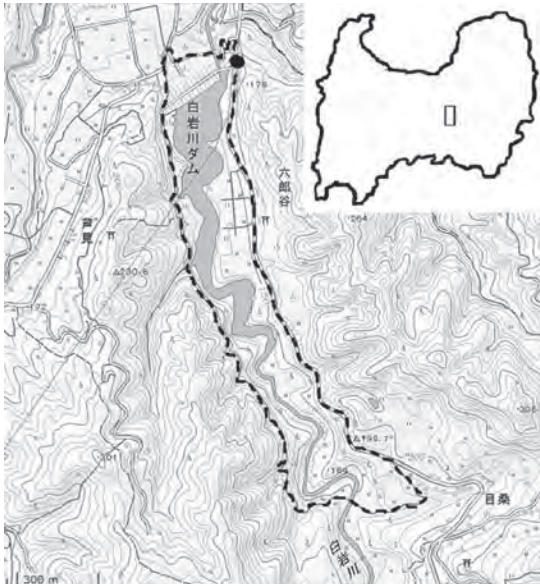


図2 ラインセンサスルート（国土地理院地図より作図）

## 結果と考察

### 1) 出現種および出現個体数

ラインセンサスでは36科91種の鳥類が確認された。また、調査エリア内ではそれ以外8科9種が記録され、調査全体での当エリアでの生息鳥類種は39科100種であった。（末尾の鳥類目録を参照）。

### 2) 月ごとの種数と出現個体数

ラインセンサスにおける月ごとの出現種数を表1および図3に示した。

実線で全確認種の種数を、破線でカイツブリ科・ウ科・カモ科の水鳥3科7種を除いた種数を表した。

出現種数は8月が33種と最も少なく、次いで12月の35種が少なかった。出現種数が最も多かった

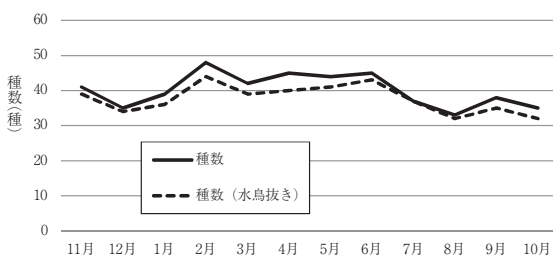


図3 月ごとの出現種数

月は2月の48種であり、続く3月～6月も40種以上が継続して観察された。9～10月の秋渡り期は比較的少ない種数で推移した。

### 3) 月ごとの出現個体数

ラインセンサスにおける1 km (10ha) あたりの出現個体数を表1および図4に示した。

実線で全確認種の個体数を、破線でカイツブリ科・ウ科・カモ科の水鳥3科7種を除いた個体数を表した。

個体数は2月が58.53羽/haと最も多く、3月から8月にかけては30～40羽台で、10月から1月にかけては20羽台で推移した。

種数の変遷と合わせて考察すると、当調査地では春渡り期後も移動せず滞在して繁殖活動を行い、秋渡り期に渡去する個体数が多いことが考えられた。また、冬期は低温期・積雪期に個体数が増加する漂鳥や放浪性の高い鳥類種が全体の傾向に影響を与えていることが示唆された。

### 4) 主要種および優占度

各月の確認種から、カイツブリ科・ウ科・カモ科の3科16種を除いたうち確認個体数の多かった上位十種と個体数の割合を表2に示した。

全期間を通してホオジロ・ヒヨドリ・シジュウカラが高い優占度を示す中で、2月にはマヒワ・アトリが、8月にはツバメが最も優占した。

由井(1976)による繁殖期鳥類群集の類型では、おおむねクヌギコナラ林型(ヒヨドリ-ホオジロ-シジュウカラ群集)最もよく合致した。また、由井(1977)による冬期鳥類群集の類型では、おおむね暖帯針広混交疎開林型(ヒヨドリ-カラ

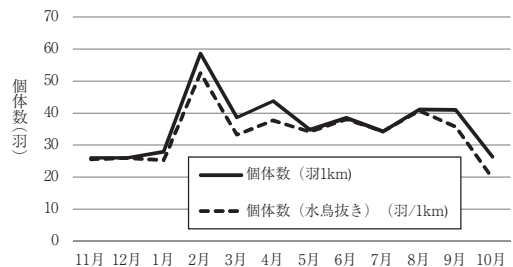


図4 月ごとの出現個体数

表1 月ごとの出現種と出現個体数

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
1 カイツブリ		0.33				0.33	0.33					0.33
2 カワウ								0.33				
3 ゴイサギ										1.67	0.67	0.33
4 ダイサギ			0.67	0.33					0.33	0.33	0.67	0.67
5 チュウサギ									0.33		0.33	
6 アオサギ							2.33	1.00	0.67	2.33	1.33	
7 オンドリ	0.33				0.67	4.33				1.67	13.67	34.00
8 マガモ				2.00		2.33						
9 カルガモ			0.67	0.67		3.33	2.00	1.67			13.00	0.33
10 コガモ	2.00		2.33	15.67	27.00	20.67	0.67				0.33	
11 カワアイサ			10.67	12.67	0.33							
12 ミサゴ							0.67	0.33	0.67	0.33		
13 ハチクマ								0.33	0.33			
14 トビ	0.33	0.67	0.33	0.33	0.33		1.67	0.67	0.33		0.67	1.00
15 オオタカ	0.33	0.33	0.33	0.67								
16 ハイタカ				0.33							0.33	
17 ノスリ	0.67	0.33	0.33	0.33	0.33							
18 サシバ						1.67	0.33	0.67	0.67	6.33	0.67	
19 クマタカ	0.33			0.33								
20 ハヤブサ	0.33											
21 チョウゲンボウ	0.33											
22 ヤマドリ	0.33		0.33	0.33	1.00	1.00						
23 キジ	2.67			1.00		0.33		1.33	1.00			
24 コチドリ						0.67		1.33	1.00			
25 イカルチドリ		15.33										
26 アオソバ				0.33								
27 キジバト	0.67	0.33			3.00	7.00	4.00	9.67	6.00	13.00	15.33	4.00
28 アオバト								0.33	0.33	0.33		
29 ツツドリ						0.33	1.00	1.33				
30 ホトトギス								0.67	0.33	0.33	0.33	
31 フクロウ								0.33				0.33
32 アマツバメ						12.33						
33 ヤマセミ	1.00	0.67	0.33		1.67	1.67		0.33	0.33	0.33		0.33
34 アカショウビン						0.33		0.33		0.33		
35 カワセミ	0.33		0.33			0.33	0.67	0.33			0.33	
36 アオゲラ	0.67	0.33	1.00	1.33	1.00			1.33		2.00	0.67	1.33
37 アカゲラ	0.67	0.67	0.67	0.33	0.33	0.33	0.33	0.67		0.67		1.33
38 オオアカゲラ		0.33										
39 コゲラ	1.00	1.00	3.67	2.33	2.67	3.00	2.00	1.33	0.67	0.33	0.67	0.67
40 ツバメ						1.67	4.00	2.33	11.67	53.33	15.33	
41 イワツバメ						6.33						
42 キセキレイ	0.33	0.67	0.33	1.33		0.33	0.67	1.33	6.67	3.00	0.33	1.00
43 ハクセキレイ		0.33			0.33		0.33	0.33	0.67		0.33	
44 セグロセキレイ		0.67		0.33	0.33		0.67		0.67		0.33	0.67
45 ビンズイ								0.33				
46 サンショウクイ						2.33	1.33	0.67	2.67		0.67	0.33
47 ヒヨドリ	10.00	17.33	19.67	6.00	5.33	23.00	32.00	59.67	60.00	37.33	83.33	19.33
48 モズ	0.67			0.67	0.33	1.00	0.67	0.33	0.33	1.00	3.33	3.00
49 カワガラス	1.00	1.33	1.33	2.33	2.33	1.67	2.33	0.33			0.33	0.33
50 ミソサザイ		1.33	2.00	1.00	3.33	0.33						0.33
51 コマドリ						1.00	1.00					
52 ルリビタキ	1.00	1.00	1.33	0.33	0.33							
53 ジョウビタキ	2.00	3.00	1.33	2.00	1.33	3.67						
54 ノビタキ												1.67
55 トラツグミ										0.67		
56 クロツグミ							0.33	0.67		1.00		
57 シロハラ		0.33	3.00	1.67	1.33	0.67						0.33
58 ツグミ			0.33	0.67	0.67							
59 ヤブサメ						1.67	0.67	0.67	0.33			
60 ウグイス	6.33	9.33	4.33	1.00	5.67	13.33	7.67	8.33	2.67	1.67	2.00	1.33
61 オオヨシキリ							0.67		0.33			
62 オオムシクイ								0.33				0.33
63 エゾムシクイ							0.33		0.67			0.67
64 センダイムシクイ						0.67	1.67				0.33	
65 キクイタダキ	0.33			6.67	1.00							
66 キビタキ							6.00	5.33	3.67	1.00		
67 オオルリ						2.00	7.33	0.67	0.67			
68 エゾビタキ											0.67	

表1 月ごとの出現種と出現個体数(続き)

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
69 コサメビタキ							0.67				0.33	
70 サンコウチョウ								1.00				
71 エナガ	3.67	6.00	6.33	7.00	7.33	4.67	4.67	0.33		1.00	2.33	2.67
72 コガラ	0.67	0.67		5.00	2.00							
73 ヒガラ	2.67	1.33	2.67	1.67	0.33							0.33
74 ヤマガラ	8.67	10.00	9.67	10.67	15.67	6.00	4.00	5.33	3.67	4.33	6.67	5.33
75 シジュウカラ	17.33	14.67	12.33	16.00	19.33	13.33	8.00	5.33	5.00	5.00	11.33	11.33
76 メジロ		1.67	1.67	3.67	2.00	4.00	7.00	3.33	2.00	1.67	1.00	2.00
77 ホオジロ	20.33	20.00	17.00	20.33	33.67	30.00	31.00	47.67	34.67	43.33	17.00	13.67
78 カシラダカ	5.00	3.33	0.67	35.67	1.33							8.67
79 ミヤマホオジロ			1.33	1.67							0.67	
80 アオジ	3.00	5.00	6.33	8.00	1.67	8.00	4.00					
81 アトリ				41.33	6.67		2.33					
82 カワラヒワ	0.33	0.33	8.33	6.33	8.67	15.67	14.00	6.33	2.33	5.33		
83 マヒワ				50.00	13.33							
84 ベニマシコ	15.67			0.67		2.33						
85 ウソ	2.00		4.33	4.33	7.33							
86 イカル	4.00		1.67	3.00	1.00	0.67	6.33	7.33	0.67	5.33	1.67	
87 シメ	0.33			1.00	2.67		0.33					
88 スズメ	3.67	3.67	0.33	1.67	1.67	2.67	3.00	5.00	7.67	3.67	2.67	0.67
89 カケス	5.67	4.00	5.67	6.33	5.00	2.67		1.33	0.33	1.33	2.00	10.67
90 ハシボソガラス	3.67	1.67	2.00	6.00	3.33	7.00	2.00	1.67	4.67	4.00	3.67	3.33
91 ハシブトガラス	2.67	5.00	6.67	6.33	4.00	7.00	6.33	6.67	10.00	6.00	4.00	2.33
合計個体数	133.00	133.00	142.67	299.33	197.67	223.67	177.67	196.67	175.00	210.00	209.33	135.00
種数	41	35	39	48	42	45	44	45	37	33	38	35
個体数 (n/1km)	26.01	26.01	27.90	58.53	38.65	43.74	34.74	38.46	34.22	41.06	40.93	26.40

ヒワ-ホオジロ群集)であり、次いで暖帯内陸常緑樹林型(ヒヨドリ-シジュウカラ-エナガ群集)に合致した。

5) 多様度指数の季節変化

月ごとの種多様性を比較するため、Shannonの多様度指数を求め、図5に示した。多様度指数H'は以下の式で表される。

$$H' = - \sum_{i=1}^S pi \ln pi$$

ここでSは種数、Piはi番目の種類の個体数が総個体数Nに占める割合である。多様度指数H'は種数が多いほど高くなり、特定の種に偏って個体数が出現すると小さくなるという特性を持つ。実線で全確認種のH'値を、破線でカイツブリ科・ウ科・カモ科の水鳥3科7種を除いたH'値を表した。

H'値は11月から5月にかけて高い値で推移しており、この期間は多数の種が個体数の偏りの少ない状態で生息していることが示された。

表2 月毎の優占度上位10位までの種

4月		5月		6月	
	%		%		%
ホオジロ	15.6	ホオジロ	15.1	ヒヨドリ	15.2
シジュウカラ	13.3	ヒヨドリ	13.1	ホオジロ	13.2
ベニマシコ	12.0	イカルチドリ	11.6	シジュウカラ	9.6
ヒヨドリ	7.7	シジュウカラ	11.1	ヤマガラ	7.5
ヤマガラ	6.6	ヤマガラ	7.5	カワラヒワ	6.5
ウグイス	4.8	ウグイス	7.0	ハシブトガラス	5.2
カケス	4.3	エナガ	4.5	エナガ	4.9
カシラダカ	3.8	アオジ	3.8	アオジ	4.9
イカル	3.1	ハシブトガラス	3.8	カケス	4.4
ハシボソガラス	2.8	カケス	3.0	ウグイス	3.4
エナガ	2.8			ウソ	3.4
スズメ	2.8				
7月		8月		9月	
	%		%		%
マヒワ	18.6	ホオジロ	19.8	ホオジロ	15.6
アトリ	15.4	シジュウカラ	11.4	ヒヨドリ	11.9
カシラダカ	13.3	ヤマガラ	9.2	カワラヒワ	8.1
ホオジロ	7.6	マヒワ	7.9	シジュウカラ	6.9
シジュウカラ	6.0	カワラヒワ	5.1	ウグイス	6.9
ヤマガラ	4.0	エナガ	4.3	アマツバメ	6.4
アオジ	3.0	ウソ	4.3	アオジ	4.2
エナガ	2.6	アトリ	3.9	ハシブトガラス	3.6
キクイタダキ	2.5	ウグイス	3.3	ハシボソガラス	3.6
カワラヒワ	2.4	ヒヨドリ	3.1	キジバト	3.6
ハシブトガラス	2.4				
カケス	2.4				
10月		11月		12月	
	%		%		%
ヒヨドリ	18.3	ヒヨドリ	30.7	ヒヨドリ	34.3
ホオジロ	17.7	ホオジロ	24.5	ホオジロ	19.8
カワラヒワ	8.0	キジバト	5.0	ツバメ	6.7
シジュウカラ	4.6	ウグイス	4.3	ハシブトガラス	5.7
ウグイス	4.4	イカル	3.8	スズメ	4.4
ホオリ	4.2	ハシブトガラス	3.4	キセキレイ	3.8
メジロ	4.0	カワラヒワ	3.3	キジバト	3.4
ハシブトガラス	3.6	シジュウカラ	2.7	シジュウカラ	2.9
イカル	3.6	キビタキ	2.7	ハシボソガラス	2.7
キビタキ	3.4	ヤマガラ	2.7	キビタキ	2.1
				ヤマガラ	2.1
1月		2月		3月	
	%		%		%
ツバメ	25.6	ヒヨドリ	45.7	ヒヨドリ	19.3
ホオジロ	20.8	ホオジロ	9.3	ホオジロ	13.6
ヒヨドリ	17.9	ツバメ	8.4	シジュウカラ	11.3
キジバト	6.2	キジバト	8.4	カケス	10.6
ハシバ	6.2	シジュウカラ	6.2	カシラダカ	8.6
ハシブトガラス	2.9	ヤマガラ	3.7	ヤマガラ	5.3
カワラヒワ	2.6	ハシブトガラス	2.2	キジバト	4.0
イカル	2.6	ハシボソガラス	2.0	ハシボソガラス	3.3
シジュウカラ	2.4	モズ	1.8	モズ	3.0
ヤマガラ	2.1	スズメ	1.5	エナガ	2.7

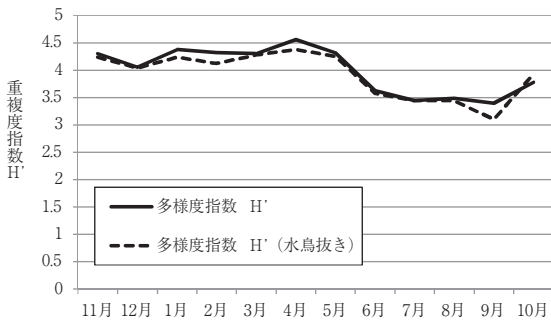


図5 月ごとの多様度指数H'

### 6) 隣接する月同士の重複度指数

隣接する月同士の鳥類の出現傾向がどれだけ似通っているかについて、HORNの重複度指数 $R_0$ により求め、図6に示した。HORNの重複度指数 $R_0$ は次の式で求められる。

$$R_0 = \frac{\sum(x_i + y_i) \ln(x_i + y_i) - \sum x_i \ln x_i - \sum y_i \ln y_i}{(X + Y) \ln(X + Y) - X \ln X - Y \ln Y}$$

大文字X,Yはそれぞれの月に観察された全鳥類の個体数、小文字 $x_i, y_i$ はそれぞれの種の個体数である。 $R_0$ の値は比較する二つの月の出現傾向がより一致するときには1に、より異なる時には0に近づく。

実線で全確認種の $R_0$ 値を、破線でカイツブリ科・ウ科・カモ科の水鳥3科7種を除いた $R_0$ 値を表した。

$R_0$ 値は11月から1月にかけての初冬期と、4月から8月にかけての春渡りから繁殖期に高い値で安定しており、この期間には鳥類相の入れ替わりが少ないことが示された。春渡り期と繁殖期の間で鳥類相の入れ替わりが少ないことは、渡り後通過せず当地に滞留・繁殖する種や個体が比較的多いことを示唆している。

一方、9月から11月の秋渡り期と1月から2月には低い値を示しており、種数・個体数が共に秋渡り期に減少し、低温・積雪期の2月に増加する際、鳥類相自体が大きく入れ替わっていることが裏付けられた。

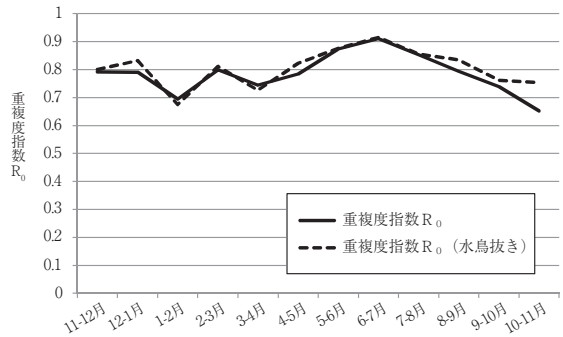


図6 隣接する月間の重複度指数 $R_0$

以上より、白岩川ダム周辺の鳥類相の特徴として、冬期から繁殖期にかけての長い期間で鳥類の種数・個体数・多様性が高い状態で維持されること、春渡り期に出現して夏まで過ごす鳥類が多く、夏鳥・留鳥の繁殖地として重要であること、厳冬期には漂鳥や放浪性鳥類の越冬地としての役割も大きいことが挙げられた。

### 謝辞

本稿を纏めるにあたり、魚津水族館の木村知晴氏に観察地や鳥類種についての有用な助言を頂いたことを記し、感謝の意を表します。

### 参考文献

富山県, 2008. 白岩川水系河川整備計画. 富山県.  
 富山県, 2012. 富山県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックとやま2012. 31-75. 富山県.  
 日本鳥学会, 2012. 日本鳥類目録改訂第7版.  
 由井正敏, 1976. 森林性鳥類の群集構造解析 I. 山階鳥研報. 47: 223-248.  
 由井正敏, 1977. 森林性鳥類の群種構造解析 II. 山階鳥研報. 49: 29-45.

## 白岩川ダム周辺鳥類目録

本調査で確認した鳥類100種を、分類群別に学名、和名の順に記載し、指定等を付記した。ラインセンサス以外で記録された種については、観察者名と観察年月日、個体数、観察場所を付記した。なお、学名は日本鳥類目録第7版(日本鳥学会, 2012)に、環境省のカテゴリーは環境省レッドリスト2015に、富山県のカテゴリーはレッドデータブックとやま2012に拠った。

### PHASIANIDAE キジ科

- 1 *Syrmaticus soemmerringii* ヤマドリ
- 2 *Phasianus colchicus* キジ

### ANATIDAE カモ科

- 3 *Aix galericulata* オシドリ  
環境省:情報不足
- 4 *Anas platyrhynchos* マガモ
- 5 *Anas zonorhyncha* カルガモ
- 6 *Anas crecca* コガモ
- 7 *Mergus merganser* カワアイサ

### PODICIPEDIDAE カイツブリ科

- 8 *Tachybaptus ruficollis* カイツブリ

### COLUMBIDAE ハト科

- 9 *Streptopelia orientalis* キジバト
- 10 *Treron sieboldii* アオバト

### PHALACROCORACIDAE ウ科

- 11 *Phalacrocorax carbo* カワウ

### ARDEIDAE サギ科

- 12 *Nycticorax nycticorax* ゴイサギ
- 13 *Ardea cinerea* アオサギ
- 14 *Ardea alba* ダイサギ
- 15 *Egretta intermedia* チュウサギ  
環境省:準絶滅危惧 RDB富山:準絶滅危惧

### CUCULIDAE カッコウ科

- 16 *Cuculus poliocephalus* ホトトギス

- 17 *Cuculus optatus* ツツドリ
- 18 *Cuculus canorus* カッコウ  
高橋, 2015-7-24, 1羽, 白岩川ダム

### APODIDAE アマツバメ科

- 19 *Apus pacificus* アマツバメ

### CHARADRIIDAE チドリ科

- 20 *Charadrius placidus* イカルチドリ  
RDB富山:準絶滅危惧
- 21 *Charadrius dubius* コチドリ  
RDB富山:準絶滅危惧

### SCOLOPACIDAE シギ科

- 22 *Gallinago solitaria* アオシギ

### PANDIONIDAE ミサゴ科

- 23 *Pandion haliaetus* ミサゴ  
環境省:準絶滅危惧 RDB富山:準絶滅危惧

### ACCIPITRIDAE タカ科

- 24 *Pernis ptilorhynchus* ハチクマ  
環境省:準絶滅危惧 RDB富山:絶滅危惧Ⅱ類
- 25 *Milvus migrans* トビ
- 26 *Accipiter gularis* ツミ  
高橋, 2015-5-21, 1羽, 大観峯自然公園
- 27 *Accipiter nisus* ハイタカ  
環境省:準絶滅危惧 RDB富山:準絶滅危惧
- 28 *Accipiter gentilis* オオタカ  
環境省:準絶滅危惧 RDB富山:絶滅危惧Ⅱ類
- 29 *Butastur indicus* サシバ  
環境省:絶滅危惧Ⅱ類 RDB富山:絶滅危惧Ⅰ類
- 30 *Buteo buteo* ノスリ
- 31 *Nisaetus nipalensis* クマタカ  
環境省:絶滅危惧ⅠB類 RDB富山:絶滅危惧Ⅰ類

### STRIGIDAE フクロウ科

- 32 *Strix uralensis* フクロウ

### ALCEDINIDAE カワセミ科

- 33 *Halcyon coromanda* アカショウビン

RDB富山：準絶滅危惧

34 *Alcedo atthis* カワセミ

RDB富山：準絶滅危惧

35 *Megaceryle lugubris* ヤマセミ

RDB富山：絶滅危惧Ⅱ類

PICIDAE キツツキ科

36 *Dendrocopos kizuki* コゲラ

37 *Dendrocopos leucotos* オオアカゲラ

38 *Dendrocopos major* アカゲラ

39 *Picus awokera* アオゲラ

FALCONIDAE ハヤブサ科

40 *Falco tinnunculus* チョウゲンボウ

41 *Falco peregrinus* ハヤブサ

環境省：絶滅危惧Ⅱ類 RDB富山：絶滅危惧Ⅱ類

CAMPEPHAGIDAE サンショウクイ科

42 *Pericrocotus divaricatus* サンショウクイ

環境省：絶滅危惧Ⅱ類 RDB富山：準絶滅危惧

MONARCHIDAE カササギヒタキ科

43 *Terpsiphone atrocaudata* サンコウチョウ

RDB富山：準絶滅危惧

LANIIDAE モズ科

44 *Lanius bucephalus* モズ

CORVIDAE カラス科

45 *Garrulus glandarius* カケス

46 *Corvus corone* ハシボソガラス

47 *Corvus macrorhynchos* ハシブトガラス

REGULIDAE キクイタダキ科

48 *Regulus regulus* キクイタダキ

PARIDAE シジュウカラ科

49 *Poecile montanus* コガラ

50 *Poecile varius* ヤマガラ

51 *Periparus ater* ヒガラ

52 *Parus minor* シジュウカラ

ALAUDIDAE ヒバリ科

53 *Alauda arvensis* ヒバリ

高橋，2016-6-1，1羽，谷口

HIRUNDINIDAE ツバメ科

54 *Hirundo rustica* ツバメ

55 *Delichon dasypus* イワツバメ

PYCNONOTIDAE ヒヨドリ科

56 *Hypsipetes amaurotis* ヒヨドリ

CETTIIDAE ウグイス科

57 *Cettia diphone* ウグイス

58 *Urosphena squameiceps* ヤブサメ

AEGITHALIDAE エナガ科

59 *Aegithalos caudatus* エナガ

PHYLLOSCOPIDAE ムシクイ科

60 *Phylloscopus examinandus* オオムシクイ

61 *Phylloscopus borealoides* エゾムシクイ

62 *Phylloscopus coronatus* センダイムシクイ

ZOSTEROPIDAE メジロ科

63 *Zosterops japonicus* メジロ

ACROCEPHALIDAE ヨシキリ科

64 *Acrocephalus orientalis* オオヨシキリ

SITTIDAE ゴジュウカラ科

65 *Sitta europaea* ゴジュウカラ

高橋，2016-10-31，1羽，塔倉山林道

TROGLODYTIDAE ミソサザイ科

66 *Troglodytes troglodytes* ミソサザイ

STURNIDAE ムクドリ科

67 *Spodiopsar cineraceus* ムクドリ

高橋，2015-6-2，1羽，白岩川ダム

CINCLIDAE カワガラス科

68 *Cinclus pallasii* カワガラス

MUSCICAPIDAE ヒタキ科

69 *Zoothera dauma* トラツグミ

70 *Turdus cardis* クロツグミ

71 *Turdus pallidus* シロハラ

72 *Turdus chrysolaus* アカハラ

高橋, 2015-10-20, 1羽, 白岩川ダム

73 *Turdus naumanni* ツグミ

74 *Luscinia akahige* コマドリ

75 *Luscinia cyane* コルリ

高橋, 2015-5-10, 1羽, 白岩川ダム

76 *Tarsiger cyanurus* ルリビタキ

77 *Phoenicurus aureoreus* ジョウビタキ

78 *Saxicola torquatus* ノビタキ

79 *Muscicapa griseisticta* エゾビタキ

80 *Muscicapa dauurica* コサメビタキ

RDB富山:準絶滅危惧

81 *Ficedula narcissina* キビタキ

82 *Cyanoptila cyanomelana* オオルリ

PASSERIDAE スズメ科

83 *Passer rutilans* ニュウナイスズメ

高橋, 2015-10-31, 7羽, 塔倉山林道

84 *Passer montanus* スズメ

MOTACILLIDAE セキレイ科

85 *Motacilla cinerea* キセキレイ

86 *Motacilla alba* ハクセキレイ

87 *Motacilla grandis* セグロセキレイ

88 *Anthus hodgsoni* ビンズイ

FRINGILLIDAE アトリ科

89 *Fringilla montifringilla* アトリ

90 *Chloris sinica* カワラヒワ

91 *Carduelis spinus* マヒワ

92 *Uragus sibiricus* ベニマシコ

93 *Pyrrhula pyrrhula* ウソ

94 *Coccothraustes coccothraustes* シメ

95 *Eophona personata* イカル

EMBERIZIDAE ホオジロ科

96 *Emberiza cioides* ホオジロ

97 *Emberiza rustica* カシラダカ

98 *Emberiza elegans* ミヤマホオジロ

99 *Emberiza spodocephala* アオジ

100 *Emberiza variabilis* クロジ

高橋, 2015-10-26, 2羽, 大観峯自然公園